

車いすテニスを披露！

11日（土曜日）、区立杉並第十小学校（和田3-55-49）の校庭で、約1000名が参加し「ふれあい運動会」が開催されました。この催しの昼休みの時間では、車いすテニスのトッププレーヤー2名によるデモンストレーションが披露され、その見事なプレーに会場からは大きな歓声が沸き起こりました。

ふれあい運動会は、障害の有無に係らず、スポーツやレクリエーションを共に楽しむことにより、互いの交流と理解を深めることを目的に、昭和38年から開催されています。肢体障害・内部障害は緑、視覚障害は紫、聴覚障害は白、知的障害・精神障害は赤のバンダナを身につけた参加者が、玉入れやビーチボールリレー、車いすリレーなどを楽しみました。地域の町会や商店会、小中学生もボランティアとして参加。障害者と健常者1000人ほどが集まり、スポーツ交流に汗を流しました。

今年51回目の開催。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を受け、障害者スポーツの普及・振興を目的に、車いすテニスのトッププレーヤーの藤本佳伸（ふじもとよしのぶ・38歳）選手と本間正広（ほんままさひろ・51歳）選手の2名が登場。藤本選手は、車いすテニスで北京パラリンピックに出場経験を持っています。本間選手も、ワールドチームカップに日本代表として出場するなど、国内外の大会で活躍されています。

昼休みの時間を利用して、車いすテニスのデモンストレーションが行われました。多く観戦者が見守る中、車いすを巧みに操り、前後左右にコートを移動しながら、ラリーが繰り広げられました。また、車いすの障害者や2020年には選手やボランティアとして活躍する年代となる小中学生ボランティアと交流を深めました。藤本選手は、「テニスは障害の有無や年齢・性別に関係なく、同じコートで楽しめるところが魅力」と話します。今後は、2016年のリオデジャネイロパラリンピックに出場することを目標にしています。



ふじもと よしのぶ
藤本 佳伸 選手 日本ランキング シングルス5位/ダブルス3位
北京パラリンピック シングルス・ダブルス ベスト16 …など

ほんま まさひろ
本間 正広 選手 日本ランキング シングルス6位/ダブルス5位
ワールドチームカップ日本代表出場 …など